

隣近所の方の顔や名前 分かりますか？

大災害の際、隣近所の方との助け合いはとても重要です。非常時には、公的機関の支援は中々行き届きません。「遠くの親戚より近くの他人」この言葉を聞いたことはありますか？

「顔と名前が分かる」普段から緩やかでも関係があれば、大災害時に生きてきます。顔と名前が分かる程度関係をまず築いておく、「共助」「自助」が大事です。



①共助

大災害の際、隣近所での助け合い「共助」がとても重要です。顔や名前も分からない人が相手では助け合うのが難しくなります

②自助

自分が無事でなければ当然人を助けることもできません。「共助」が成り立つにはまず自分を守る「自助」が大切になってきます

隣近所との関係性づくり

大災害のときだけでなく、ちょっとした不調のときでも「あの人はどうしたかな」そんな声が挙がるような関係性があるとよいのではないのでしょうか。

どんなに文明が進んで、便利になったとしても、人は1人で生きることにはできません。難しく考えず、まずはあいさつから始めてはいかがでしょうか。